

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市厚別公園陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 観戦禁止区域での場所取り、観戦、撮影等を行わないこと。
- 3) 本大会では補助競技場を使用することはできない。
- 4) 朝のトラック全体を使用しての練習は、9:15（競技開始の 15 分前）までとする。
ただし、バックストレート（100m を逆走で実施する場合はホームストレート）については、継続して 10:15 まで練習に使用してもよい。
- 5) 男女 100m 実施中にバックストレート（逆走の場合はホームストレート）を練習場所として開放する。
開放時間については以下のとおりとし、変更の場合は当日のアナウンスにて連絡する。

	開始時刻	終了時刻
1	開門時刻より使用可能	10:15（10000mW 競技開始の 15 分前）
2	11:45	12:45（1500m 競技開始の 15 分前）
3	14:15	15:00（800m 競技開始の 15 分前）

3. 点呼・棄権について

- 1) 競技者は競技開始時刻の 40 分前までに 1 次点呼（○付け）を行い、競技開始時刻の 20 分前までに各競技開始場所に直接集合すること。ただし、組数の多い種目では段階的に一次点呼・招集を行うことがあるため、競技日程（別紙）記載の一次点呼締切時刻、現地集合時刻を各自確認すること。
なお、100m の 2 次レース以降は棄権者を除いて再度番組編成を行うことから、2・3 次レースは競技開始 1 時間前に一次点呼を行う。2 次レース以降は組・レーン変更の可能性があるので、留意すること。
万が一、不正スタートが発生しても、次レースへの出場は可能とするが、1 次レースを棄権して、2・3 次レース単独または両方の出場は認めない。
- 2) 1 次点呼（○付け）場所は、競技場エントランスに設ける。
- 3) 男女 5000m、10000mW では、シューズの厚さ検定とレーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって 1 次点呼とする。なお、シューズ検定は時間がかかる場合があるため、早めに受けることを推奨する。
その他の競技は、1 次点呼場所にて掲示されたスタートリストへの○付けをもって 1 次点呼とする。
- 4) 指定された時間までに 1 次点呼（○付け）を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- 5) 棄権する場合は、1 次点呼の締め切り時刻までに大会受付（メインスタンド下役員審判控室）にある棄権届（2 枚）に必要事項を記入し、競技者係と本部へ提出すること。

4. アスリートビブスについて

- 1) 学連に登録した競技者は、各自の学連ビブスを使用する。2023年度のものを使用すること。
学連ビブスは受付の際に配布するため、まだ受け取っていない場合は大学ごとに取りに来ること。
- 2) 中学生・高校生はそれぞれ中体連・高体連の割り当て番号によるビブスを使用すること。
- 3) 一般参加者は各登録陸協の割り当て番号によるビブスを使用すること。
- 4) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については右側につけること。
- 5) 男女 5000m、10000mW に出場する選手は、1次点呼の際に配布されるアスリートビブスを体の前後につけること。

5. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。

以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より厚い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
ハードル種目を含む 800m 未満のトラック種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
障害物競走を含む 800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
競歩種目	40mm	

- 2) 靴底の厚さ計測を行うため、3000m 以上の種目に参加する競技者は全員必ずレースで使用するシューズを1次点呼場所に持参しシューズの厚さ検定を受けること。1次点呼を兼ねているため、検定を受けなかった場合は棄権として処理されるので注意すること。

6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) **トラック競技の番組編成は、エントリーの際に入力された資格記録の順によって組を決定し、主催者で抽選を行ってレーン順を決定する。**
- 2) トラック競技のレーン順はアスリートランキング記載の順による。
- 3) **100m の2次レース以降は、その前のレースタイムの遅い順に番組編成を行う。**

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) 100mは、気象状況によりバックストレートにて実施することがある。
- 3) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、次の条件で打ち切ることがある。制限時間は以下のとおりとする。

男子 5000m	25分00秒	女子 5000m	25分00秒
男子 10000mW	65分00秒	女子 10000mW	65分00秒

9. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから 15 分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

10. 撮影許可証について

- 1) スマートフォン・タブレット等の端末以外での撮影を希望する者は、事前に撮影許可証申請書を記入し、受付に提出すること。
- 2) 受付で配布される撮影許可証を身につけている者のみ撮影を許可する。所持するだけでなくきちんと身につけること。

11. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は競技会中は大会本部で管理し、競技会終了後は厚別公園陸上競技場の事務室に預ける。
- 3) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 4) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2023 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 5) 本大会では第 2 駐車場は使用できない。
- 6) 大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- 7) 不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- 8) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。